

事業所名

療育支援あおぞらプラス（放課後デイサービス）

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

R8

年

2月

5日

法人（事業所）理念		共に生き、共にしあわせに						
支援方針		皆それぞれがもっている個性（ライフカラー）が、将来輝くチカラとなり安心した日常生活がおくれるよう全力でサポートしていきます。						
営業時間		9時	30分から	18時	0分まで	送迎実施の有無	あり なし	
支援内容								
本人支援	健康・生活	大人や友達とのやりとりを楽しめるよう、支援員が援助し、お子さんが安心して過ごせる場所を提供します。道具や遊具の用意と片付けなど、環境の整備を自立的に行えるよう支援します。複数の部屋を使ったり、パーティションを用意したりして、自分の課題や運動に集中しやすい環境を作ります。タイムタイマー、絵や文字のスケジュール表などを使って、予定をわかりやすく伝えます。						
	運動・感覚	着席して活動する時間と、部屋のいろいろな場所で自由に遊ぶ時間を設けます。座った姿勢を維持しやすいよう、お子さんに合わせた椅子や机を調整します。文字をなぞったり書いたりすることや、迷路、道具を使った制作活動などを通じて、目と手の協調（ハサミ練習・ボタン・ちょうちよ結び・キャップの開閉等）体を動かす練習（サーキットトレーニング、体操、ボールを使った遊び等）をします。						
	認知・行動	具体的なものや絵カードを使った課題や、プリント学習の中で、数の操作、形、長さ、大きさ、時間などの概念を学びます。活動の終わりの時間をタイムタイマーで知らせる、時計にシールを貼って示すなどして、時間を意識して自ら行動することを支援します。パーティションや個別の部屋を用意して視覚刺激の少ない環境を作るなど必要に応じて、個々の感覚特性に配慮した環境を設定します。						
	言語 コミュニケーション	自分のしたいことを伝える、手伝ってほしい時に援助を求めるなど、生活の中で自分自身を大切にするために必要な行動を適切な場面で発揮できるよう支援します。お子さんの特徴やニーズに応じて、発音の練習や絵カードや身振りや文字を使ったコミュニケーション手段を活用します。プリント学習を通して、文字で表したり、文字を読んで理解したりする力をつけます。「いいよ」と応じる、「あとでね」と断るといったとのやりとりがスムーズにできるよう支援員が見本を見せたり助言したりします。						
	人間関係 社会性	順番・ルールを守る、他者と協力する、失敗や負けを受け入れる等、他者と一緒に生活していくために必要なスキルを身につける機会を作ります。友達との関わり方に関して、見本を提示したり声かけをしたりして、肯定的な関わりが増えるよう支援します。また、ストレスが強い状態の時には、子どものペースに合わせて関わり、ストレスを軽減・発散する方法を考えます。						
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・見学場所を用意し、家族が支援の様子を見られるようにします。 ・困り事があった時には、管理者、専門職員に相談できる環境を整えます。 ・保護者同士の情報共有の場所を提供しております。（保護者会等） 			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・保育所や学校等への訪問や受け入れの際に行った会議等を通じて、児童の心身の状況や生活環境などの情報連携を図ります。 ・園⇒学校⇒就職等ライフステージの変化後を見据えた課題を提供していきます。 	
地域支援・地域連携		状況に応じて学校・園、他の発達支援事業所などと、担当者会議を実施することで情報共有、連携を図ります。						

<p>職員の質の向上</p>	<p>外部研修への参加や内部研修を行い、障がいへの理解を深めたり、新しい支援方法を学んだりします。随時職員間で現在の支援方針について検討し、お支援方法に関する情報を共有します。</p> <p>新卒・中途入社研修 ・ビジネスマナー ・コミュニケーション研修 ・福祉制度に関する研修 ・療育に関する研修</p> <p>全社員向け研修・教育トレーナー・メンター制度（新卒社員対象独自プログラム） ・OJT（独自プログラム 基礎・初級・中級） ・虐待防止（身体拘束）に関する研修 ・事故防止に関する研修 ・感染症に関する研修 ・防犯に関する研修 ・災害に関する研修</p> <p>職員の外部研修への参加を奨励します。 ・1人年2回以上の外部研修参加 ・教育訓練休暇制度（有給を5年間で5日間取得可能）</p>
<p>主な行事等</p>	<p>避難訓練（年2回以上）、熱中症対策指導、交通安全指導、カヌー体験（8月）デイキャンプ（11月）</p>